

都議会 百条委が実現

都民の世論・運動と 共産党都議団が動かす

豊洲問題を解明するための百条委員会が、ついに実現することになりました。日本共産党都議団が昨年9月から繰り返し返し提案してきたもので、都議会第1回定例会初日(2月22日)に、全会一致で設置が決まりました。「都民の世論が都議会を動かした」——大きな成果です。

百条委を提案し続けた 日本共産党都議団



食の安全・安心を何よりも大切にしなければならぬ生鮮食品を扱う市場を、なぜ、高濃度の有害物質で汚染された東京ガス豊洲工場跡地に移転するのか。疑惑の真相究明を求める都民や市場関係者の運動と世論、日本共産党都議団の粘り強い調査、追及、提案が、都議会を大きく動かしました。昨年、都議会では共産党の提案に反対、否決した、自民、公明、民進系2会派(現・東京改革)、生活者ネット、かがやけ(現・都民ファーストの会)も豊洲問題の真相究明を求める都民世論の高まりを前に、今回、賛成に変わったのです。

石原元知事ら真相解明に全力 の喚問はじめ真相解明に全力 移転の中止含め抜本的 見直しを

共産党は石原元都知事や東京ガス会長らの証人喚問を提案しています。都政を決めるのは都民の声です。真相の究明と、豊洲移転の中止を含め抜本的検討の実現へ、ともに声をあげ、力をあわせましょう。



都議会議員(世田谷区選出)
里吉 ゆみ
さとよし・ゆみ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2017年2・3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可